



2019.6.7 NO.2507

八幡西ロータリークラブ



BE THE INSPIRATION  
インスピレーションに  
なろう

2018～2019年度  
会 長 岩崎 員久  
副会長 岸野 玲  
幹 事 有松 稔晃

《会報委員会》  
福田 学 高嶋 雅樹 坂本 敏弘  
中村 克己 江崎 嘉春 溝上 智彦  
貞方 友明

例会場・事務局 北九州市八幡東区西本町1-1-1千草ホテル  
TEL093-681-0694 FAX093-681-0984  
例会日:毎週金曜日 12:30～13:30

RID2700地区岡野正敏ガバナーメッセージ  
— 寛容と思いやり そして和の心 —  
八幡西RC岩崎員久会長メッセージ  
「元気になろう!! 八幡西ロータリークラブ」

次回例会のお知らせ 6月14日(金)

「ワインセミナー開催 18:30～ 千草ホテル」

本日の例会 2019年6月7日(金)

1. 君が代斉唱
2. ロータリーソング “それでこそロータリー”
3. 来客紹介
4. 出席状況の報告
5. 祝誕生 柳野晴司君 S47年6月2日
6. 会長の時間
7. 各委員会報告
8. ニコニコボックスの報告
9. 幹事報告
10. クラブフォーラム (I・D・Mの報告)  
報告者:IDM記録担当

幹事報告

幹 事 有松 稔晃

- 1) 例会臨時変更のお知らせ  
★小倉東RC  
①6月12日(水)の例会を ↓  
15日(土)ステーションホテル小倉  
②6月26日(水)は休会  
★門司西RC  
6月20日(木)18:30～ プレミアホテル門司港  
★八幡中央RC  
6月24日(月)18:30～ 大谷会館  
★小倉南RC  
6月25日(火)18:30～ リーガロイヤルホテル小倉

前例会の記録 5月24日(金)

出席報告

例会食事カロリー 1,100Kcal

会員数 53名

- ・当日の出席者数 37名
- ・ゲスト数 名
- ・会員出席率 74.00%
- ・5月10日の修正出席率 90.00%

会長の時間

会 長 岩崎 員久

5月11日にアクロス福岡で灘谷和徳ガバナー年度の地区研修・協議会が開催され、当クラブの各委員会委員長も全員参加頂きました。灘谷ガバナーのメッセージ「不易流行」のもと、部門別会議が開催され各委員長それぞれに次年度活動計画の指針になったと思います。私もロータリー財団部門の研修リーダーとして各クラブの財団委員長に次年度の活動方針を発表しました。当クラブも岸野会長の「行動しよう八幡西ロータリークラブ」のメッセージのもと各委員会に活発に行動していただけるものと期待しています。国際奉仕においても大林委員長を中心にタイでの活動を本格的に動き始めました。最近では地区においても各クラブにおいても委員長ひとりが動いている傾向が見受けられます。当クラブではそのような事の無いように委員会全員で行動し、委員長をサポートしてあげてください。全員で元気になって行動する八幡西ロータリークラブになる事を期待しています。

委員会報告

会員増強・職業分類・会員選考・ロータリー情報委員会  
委員長 稲富靖彦

本日例会終了後会員選考を行ないますので、関係委員の方はこの会場にお集まりください。

次年度インターアクト委員会 委員長 正木文久

本日、7月27日インターアクト指導者講習会の資料を配布しております。参加希望の方は来週までにご連絡ください。また、13時から15時折尾駅周辺にて清掃活動を行いますグリーンバード折尾というインターアクトのメンバーが中心の活動です。参加される方は12時30分自由ヶ丘高等学校にお集まりください

【ニコニコボックス】

・クラブアッセンブリー・地区協議会の報告、よろしくお願ひします。

正木、井口、貞方、坂本、稲富、柿本、伊豆、松尾  
藤村、小嶋、舟木、浜崎、吉田浩二、藤本、安東  
三島、村山、高嶋、中村の諸君

・本日の卓話 よろしくお願ひします。先日は、高嶋先生ありがとうございました。 谷君

・誕生自祝 有松、波多野の諸君

## 誕生日おめでとうございます



波多野 正信君 昭和34年5月19日生  
当日は仏滅の為金久保君、三島君とゴルフでした。妻より「本日結婚記念日と知っていますか」とのメールが入り目覚めました。60歳は感慨深いもので人生の中間地点にするか通過点とするかというのですが、個人的には還暦の今を大切に頑張ります。



有松 稔晃君 昭和39年5月19日生  
誕生日祝いありがとうございます。55歳になりました。親父が72歳で亡くなりましたので、とりえずあと17年は、頑張りたいと思います。今年の抱負ですが、血圧、体重、尿酸値のハイアベレージ三冠を脱して、令和元年の朝に同じ誕生日の波多野さんにお祝いしていただいた清々しい気持ちを持って健康に過ごしたいと思います。

## “クラブアッセンブリー” (地区研修協議会報告) 次年度副会長 谷 良樹君



本来は次年度会長が発表するのですが、灘谷次年度ガバナーの次年度方針の会長・副会長部分について報告致します。「ロータリーは世界をつなぐ」という21世紀初期に立てた

戦略計画を実行に移す時期にきています。その中では、クラブ独創的な創造のサポートも大切となっています。女性会員が世界初入会30年という節目の年を迎え、女性会員増強をテーマにしていました。米山記念館開館50周年を迎え記念式典が今年9月に静岡県三島にて開催されます。来年3月に第7回日台ロータリー親善会が福岡で行われます。My ROTARではロータリー会員向けの情報やツールをご利用いただけますのでご活用ください。地区大会の全員参加で分担金の増額となっています。2700地区では毎年300人の入会に対し300名の退会者との報告がありました。会員増強で大切なことは入会3年未満の会員を退会させない努力が必要です。インド・台湾の会員数の増加が目立っています、アメリカが30万人で1番、日本は3番目で8~9万人インドは15万人となっています。1つのクラブでみるとオクラホマシティロータリーの会員が世界最多で601人日本では東京ロータリーが318人世界で33番目です。2700地区でも10人以下のクラブもあります。PHS(ポール・ハリス・ソサエティ)会員数もその時のガバナーの考え方で多少の違いがありますが今後の課題だと思えます。

## 次年度クラブ奉仕委員長 高嶋 雅樹君

次期ガバナーの灘谷さんから次年度方針などが述べられた後、研修リーダーの本田さんの講話やロータリーリーダーシップ研究会、ポールハリスソサエティのお話がありました。



その後には部門別会議が開かれました。私は永吉さんと一緒に拡大・会員増強委員会に出席しました。委員長より会員増強の為の3つの戦略的優先項目として、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上を挙げられました。今のロータリーでは会員を増やすだけでなく会員維持が問題です。昨年度RIでは過去最多の退会者を出しており、ロータリーに入会する際に持っていた期待が満たされないと退会しています。入会時の期待とは社会奉仕・ネットワーク作り(人脈)・友情を育める人との出会いの3つに集約されます。多くの退会は入会后3年以内に起きています。このようなことが起こらない為に会員のクラブ満足度を上げていけるクラブ作りをセミナーや地区委員を通じて紹介していきます。永続するクラブの在り方を提案していきます。全クラブを対象とした「会員基盤向上セミナー」を7月27日に開催し、国際ロータリー・地区の会員基盤の現状と課題・クラブ満足度を高める提案について紹介をします。最後に新しい試みとして「衛星クラブ(サテライトクラブ)」のお話がありました。ロータリアンの平均年齢が上がりクラブの活力が減退している現状、若い世代を受け入れる為の環境を整える必要がある。仕事で出席しにくい時間でなく、出席し易い夜間などに行う、例会は毎週でなく月2回などの独自のクラブ細則を制定して、年会費も親クラブの1/3などにして若い人が参加し易い衛星クラブをスポンサークラブを作り、ここで一定期間(5年以内)経験してもらいスポンサークラブに移るシステムをこの1年で立ち上げたいと話されました。今年1/17に岩見沢ネクストロータリー衛星クラブがRIから認可されたそうです。この地区でも1つもしくは2つの衛星クラブ設立が目標という事でした。

## 次年度会報・雑誌・広報委員 坂本 敏弘君



拡大・会員増強委員会と広報・公共イメージ委員会を統括して「会員基盤向上委員会」として活動を致します。広報・公共イメージ委員会は、ロータリーを取り巻く、関係者・関係機関に積極的なアプローチをして、ロータリーの魅力を発信を致します。

本来、PRとはパブリック(公共)・リレーションズ(関係性)ですので、ロータリーに係る関係する所に情報発信していく必要があります。今年度は、会員と家族との関係性を構築しましょう。プログラム委員会では、卓話者を選定して行く事が大変なので、卓話者バンクを作成しています。7月から利用できる予定です。卓話者登録を自薦他薦どちらでも良いので、登録をよろしくお願い致します。最後に規定審議会で決まったことも各クラブで否決が多ければ決定にはなりません、否決はかなり難しいと思います。決定事項として、出席のメイクアップが前後14日を廃止して同年度以内に変更です。出席率の修正が不必要になるとメイクアップの貯金が出来ようになります。職業分類の制限(同一職業分類会員数の10%以下)の廃止です。同一職業分類の会員が何人でも入会が出来ます。定款の変更となりますので、最終的には細則でどのようにするか、今後検討して行く必要があると思えます。